



施工後は、子供たちの水遊びや、人々が水や緑に親しみながら散策できる憩いの場として利用されている。

整備にあたっては、せせらぎをつくり水を循環させたいと、雨水幹線工事で改修した周辺の土地を利用し、水辺を散策できるように遊歩道を設けた。この道に沿って木橋や車止めを設け、周囲には植栽を施した。

広陵町の南郷地区には、中世に築造された濠を巡らした県下最大の環濠集落が残り、重要な歴史的財産となっている。この「下水道水緑景観モデル事業」は、下水道の整備に伴い、環濠のもつ歴史的景観を残しながら、かつての美しい濠を回復させ、良好な水辺環境を形成し、住民に憩いとやすらぎの場を提供するために進められたものである。

DATA・BOARD 24

- ① 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷
- ② 延長：2,300m
- ③ 水路、遊歩道、橋、親水護岸、ベンチ、車止め
- ④ 石材、木材、カラー舗装材、植栽ほか



24

下水道水緑景観モデル事業（ウォータースクウェアプラン）

● 自然部門